

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公表番号】特表2013-522370(P2013-522370A)

【公表日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2013-501403(P2013-501403)

【国際特許分類】

C 0 7 C 401/00	(2006.01)
A 6 1 K 31/59	(2006.01)
A 6 1 P 7/06	(2006.01)
A 6 1 P 35/02	(2006.01)
A 6 1 P 35/00	(2006.01)
A 6 1 P 25/00	(2006.01)
A 6 1 P 3/10	(2006.01)
A 6 1 P 37/06	(2006.01)
A 6 1 P 19/02	(2006.01)
A 6 1 P 29/00	(2006.01)
A 6 1 P 11/06	(2006.01)
A 6 1 P 1/04	(2006.01)
A 6 1 P 17/00	(2006.01)
A 6 1 P 17/16	(2006.01)
A 6 1 P 19/00	(2006.01)
A 6 1 P 19/10	(2006.01)
C 0 7 F 7/18	(2006.01)

【F I】

C 0 7 C 401/00	C S P
A 6 1 K 31/59	
A 6 1 P 7/06	
A 6 1 P 35/02	
A 6 1 P 35/00	
A 6 1 P 25/00	
A 6 1 P 3/10	
A 6 1 P 37/06	
A 6 1 P 19/02	
A 6 1 P 29/00	1 0 1
A 6 1 P 11/06	
A 6 1 P 1/04	
A 6 1 P 17/00	
A 6 1 P 17/16	
A 6 1 P 19/00	
A 6 1 P 19/10	
C 0 7 F 7/18	A

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月18日(2014.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

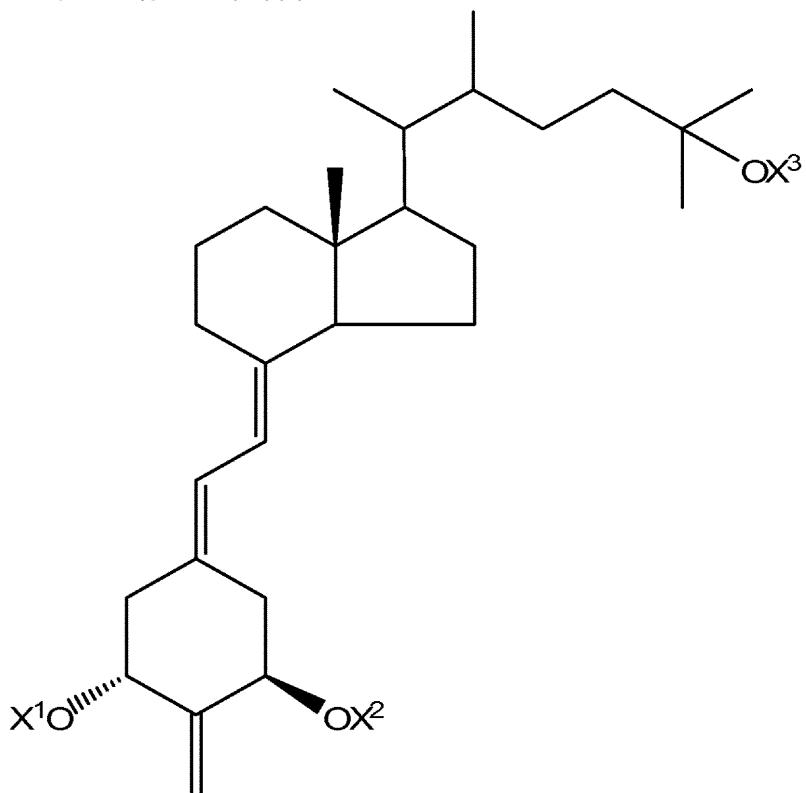
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I を有する化合物：



式中、 $X^1$ 、 $X^2$ 、および $X^3$ は、独立してHおよびヒドロキシ保護基から選択される。

【請求項 2】

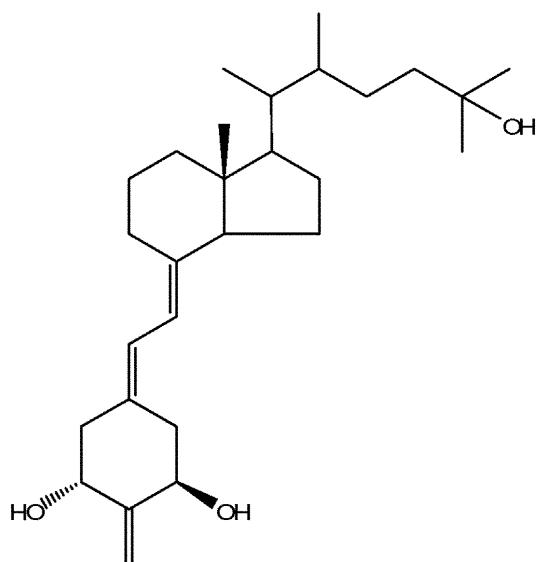
$X^1$ 、 $X^2$ 、および $X^3$ が、ヒドロキシ保護基である、請求項1記載の化合物。

【請求項 3】

$X^1$ および $X^2$ が、両方ともt-ブチルジメチルシリル基であり、かつ $X^3$ がトリエチルシリル基である、請求項2記載の化合物。

【請求項 4】

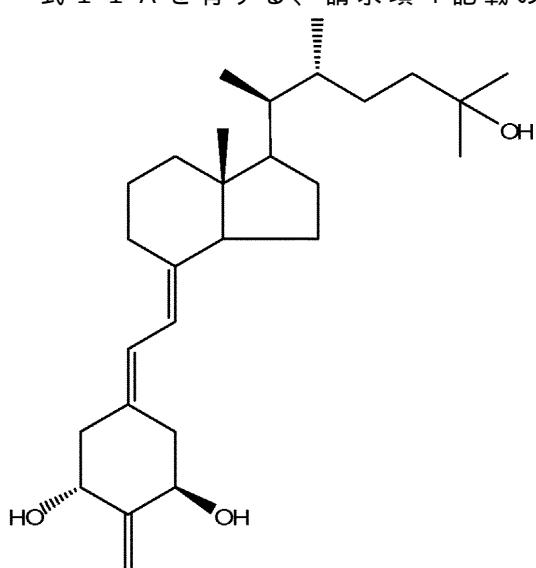
式 I-I を有する化合物：



II

。【請求項5】

式IIIAを有する、請求項4記載の化合物：

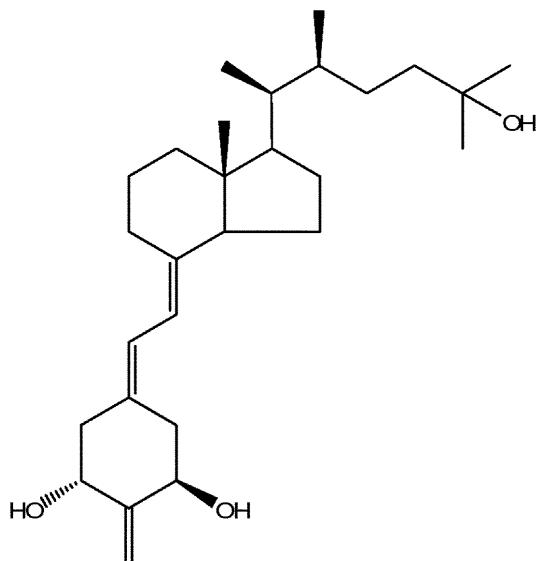


IIIA

。

【請求項6】

式IIIBを有する、請求項4記載の化合物：

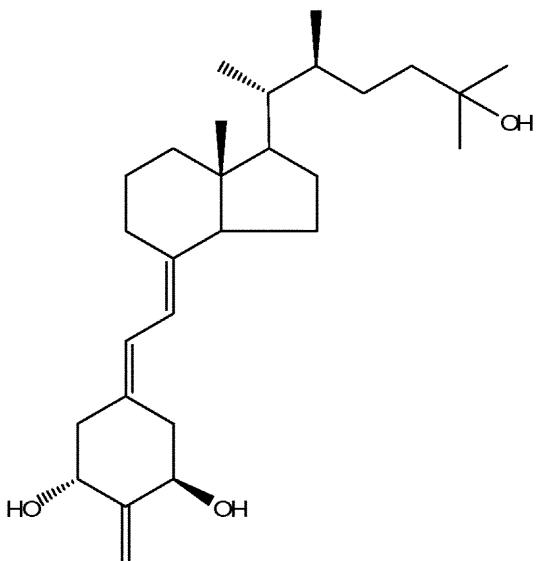


IIB

○

## 【請求項 7】

式 I IC を有する、請求項 4 記載の化合物：

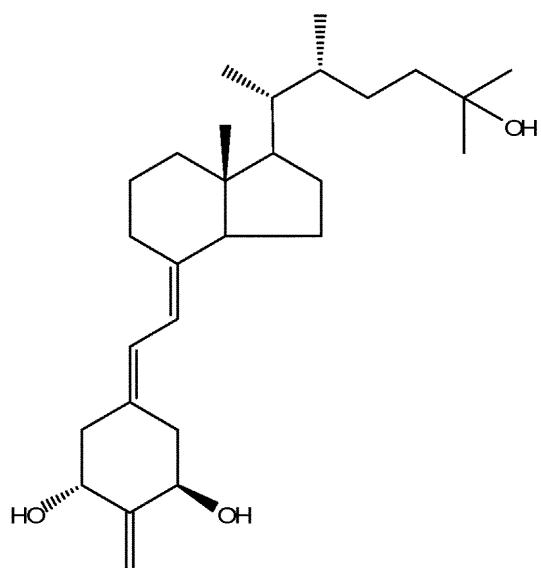


IIC

○

### 【請求項8】

式 I ID を有する、請求項 4 記載の化合物：

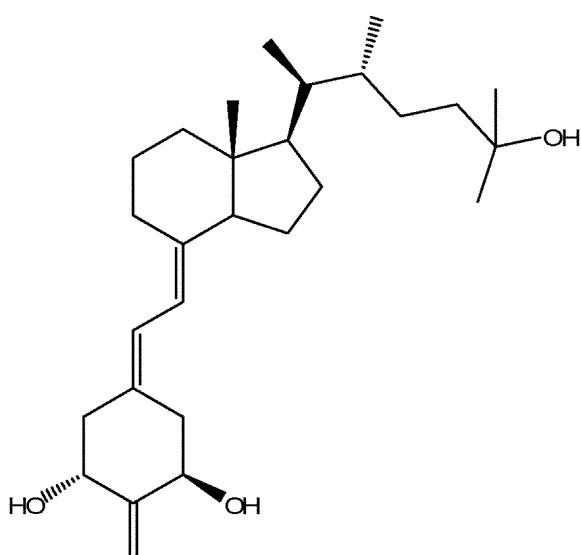


IID

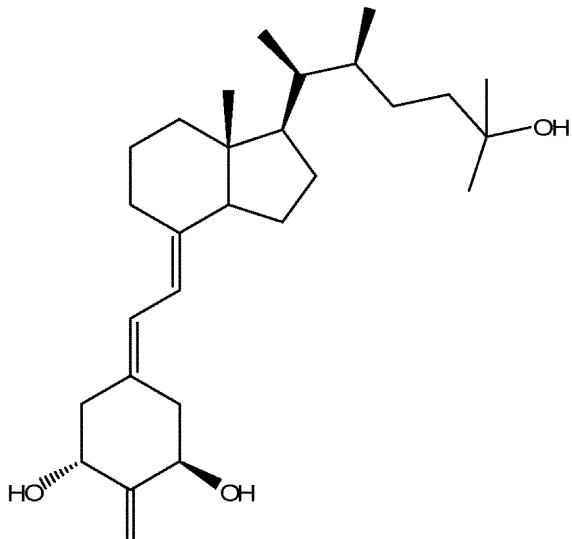
。

## 【請求項 9】

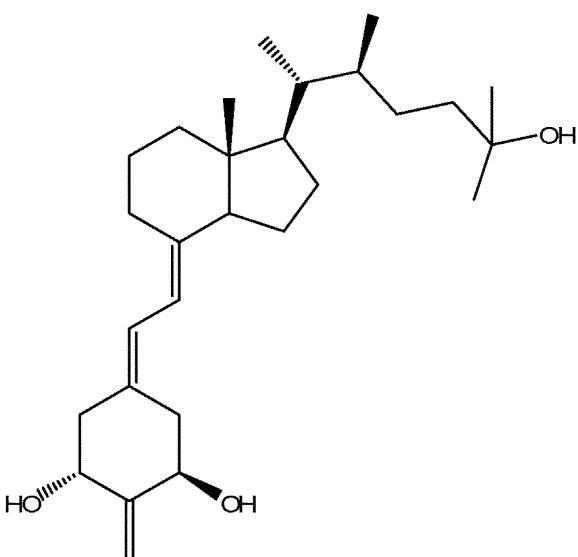
式 IIE、IIF、IIG、またはIIHを有する、請求項4記載の化合物：



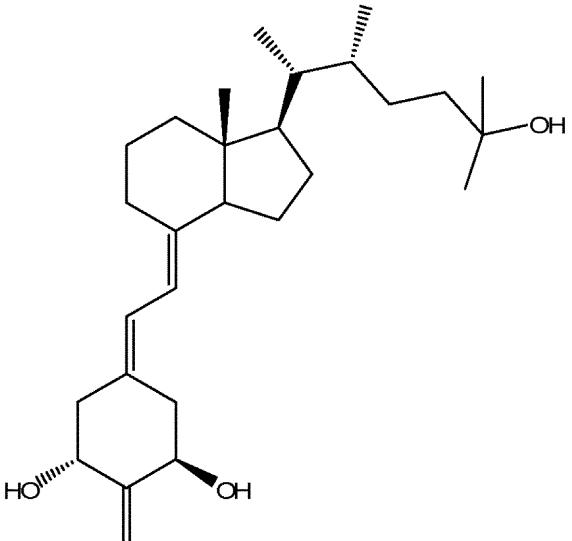
II E



II F



II G



II H

。

## 【請求項 10】

請求項 4 ~ 9 のいずれか一項に記載の化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む、医薬組成物。

## 【請求項 11】

前記有効量が、組成物 1 グラムあたり約 0 . 0 1  $\mu$  g ~ 約 1 m g の化合物を含む、請求項 10 記載の医薬組成物。

## 【請求項 12】

前記有効量が、組成物 1 グラムあたり約 0 . 1  $\mu$  g ~ 約 5 0 0  $\mu$  g の化合物を含む、請求項 10 記載の医薬組成物。

## 【請求項 13】

請求項 4 ~ 9 のいずれか一項に記載の化合物の有効量を含む、生物学的状態を患有対象を治療するための医薬組成物であって、該生物学的状態が、乾癬；白血病；結腸がん；乳がん；前立腺がん；多発性硬化症；ループス；真性糖尿病；宿主対移植片反応；臓器移植片拒絶反応；関節リウマチ、喘息、もしくは炎症性腸疾患から選択される炎症性疾患；しわ、適切な皮膚の引き締まりの欠如、適切な皮膚水分量の欠如、もしくは不十分な皮脂分

泌から選択される皮膚の状態；腎性骨ジストロフィー；または骨粗鬆症から選択される、医薬組成物。

【請求項 1 4】

前記生物学的状態が乾癬である、請求項 1 3 記載の医薬組成物。

【請求項 1 5】

前記生物学的状態が、白血病、結腸がん、乳がん、または前立腺がんから選択される、請求項 1 3 記載の医薬組成物。

【請求項 1 6】

前記生物学的状態が、多発性硬化症、ループス、真性糖尿病、宿主対移植片反応、または臓器移植片拒絶反応から選択される、請求項 1 3 記載の医薬組成物。

【請求項 1 7】

前記生物学的状態が、関節リウマチ；喘息；またはセリック病、潰瘍性大腸炎、およびクローン病から選択される炎症性腸疾患から選択される、請求項 1 3 記載の医薬組成物。

【請求項 1 8】

前記生物学的状態が、しわ、適切な皮膚の引き締まりの欠如、適切な皮膚水分量の欠如、または不十分な皮脂分泌から選択される、請求項 1 3 記載の医薬組成物。

【請求項 1 9】

前記化合物が対象に経口投与、非経口投与、経皮投与、または局所投与されるように用いられる、請求項 1 3 記載の医薬組成物。

【請求項 2 0】

前記化合物が、1日につき 0.01  $\mu$ g ~ 1日につき 1 mg の投与量で投与されるように用いられる、請求項 1 3 記載の医薬組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

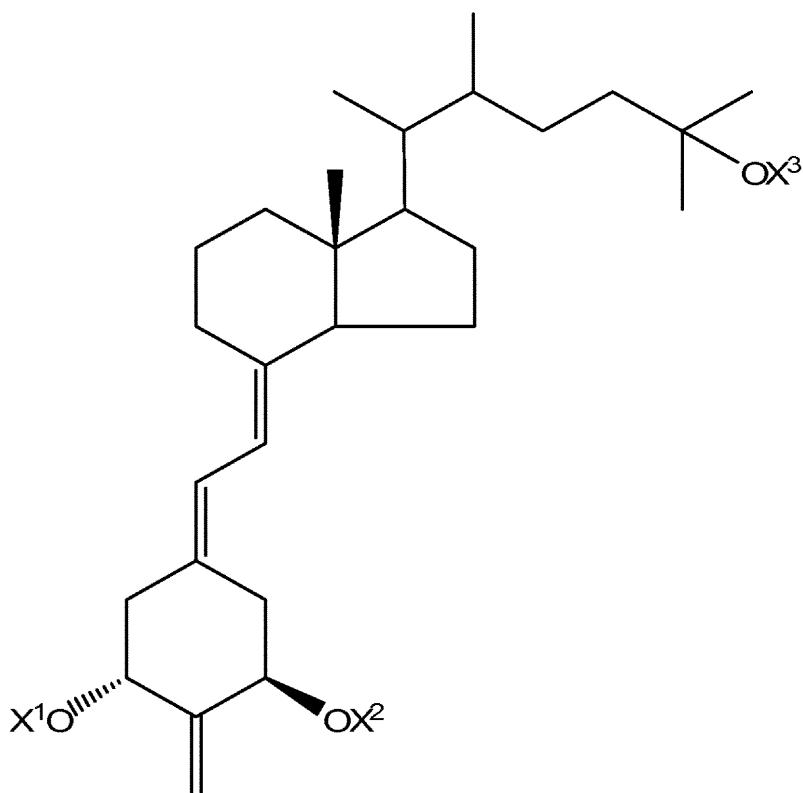
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

[本発明1001]

式 I を有する化合物：



式中、 $X^1$ 、 $X^2$ 、および $X^3$ は、独立してHおよびヒドロキシ保護基から選択される。

[本発明1002]

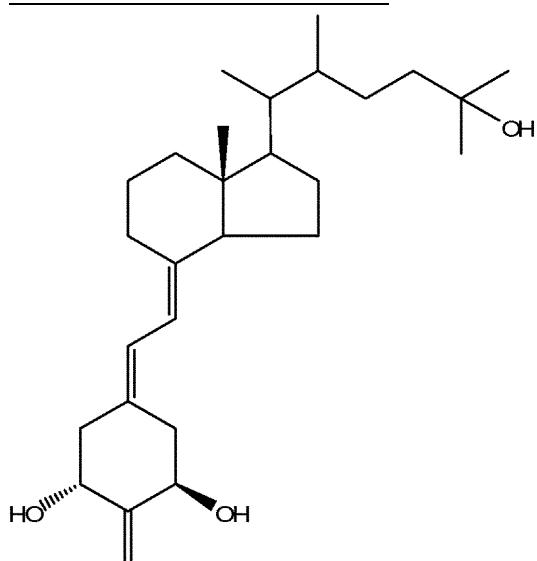
$X^1$ 、 $X^2$ 、および $X^3$ が、ヒドロキシ保護基である、本発明1001の化合物。

[本発明1003]

$X^1$ および $X^2$ が、両方ともt-ブチルジメチルシリル基であり、かつ $X^3$ がトリエチルシリル基である、本発明1002の化合物。

[本発明1004]

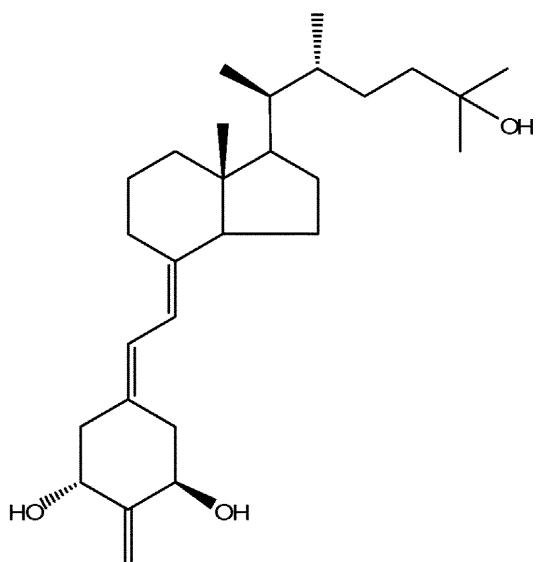
式IIを有する化合物：



II

[本発明1005]

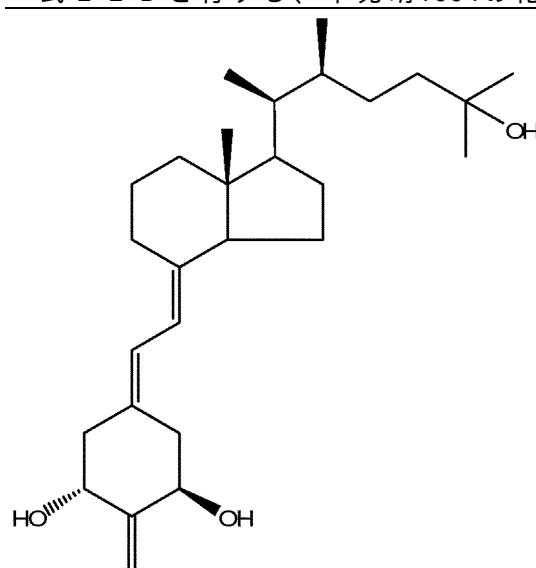
式IIAを有する、本発明1004の化合物：



IIA

。  
[本発明1006]

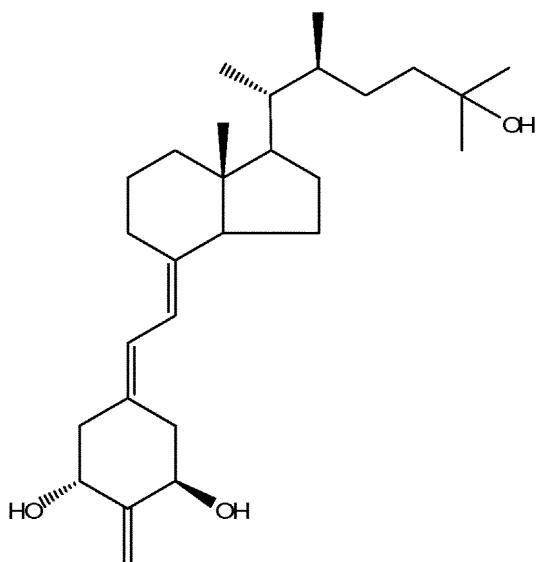
式 I I B を有する、本発明1004の化合物：



IIB

。  
[本発明1007]

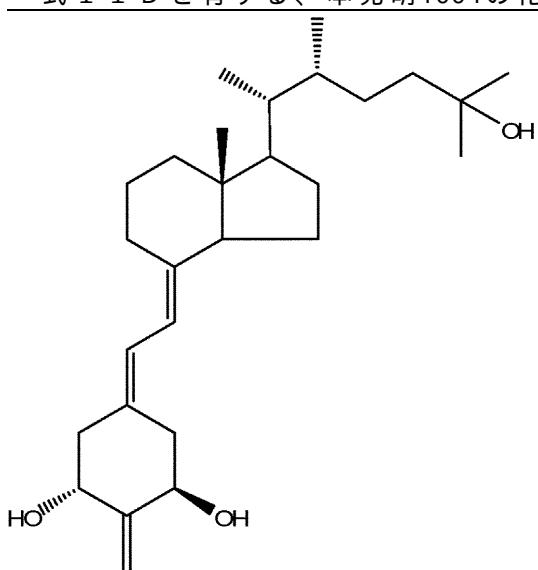
式 I I C を有する、本発明1004の化合物：



IIC

。  
[本発明1008]

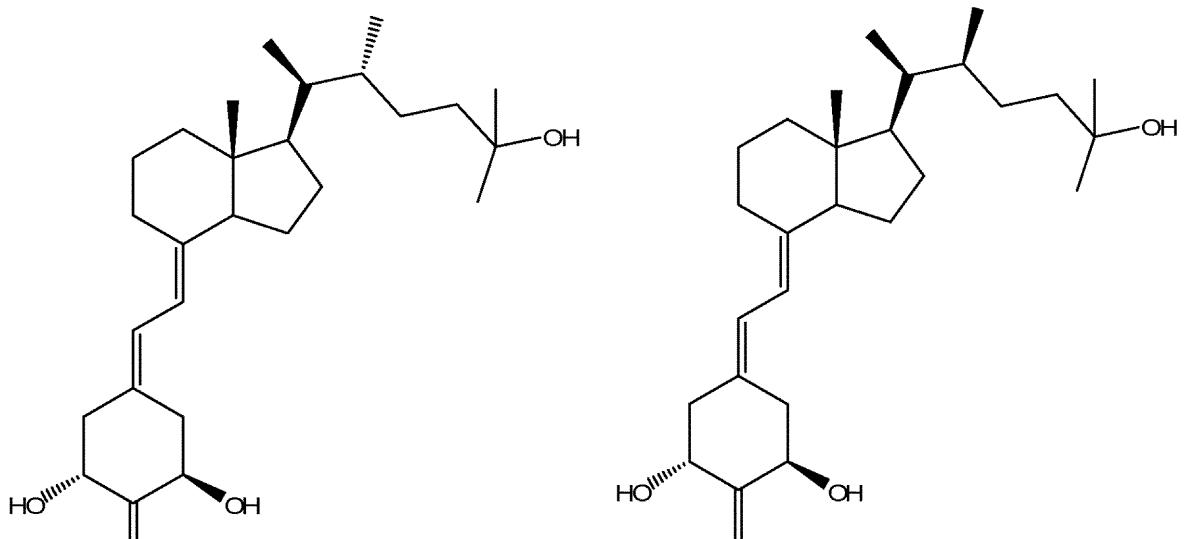
式IIDを有する、本発明1004の化合物：



IID

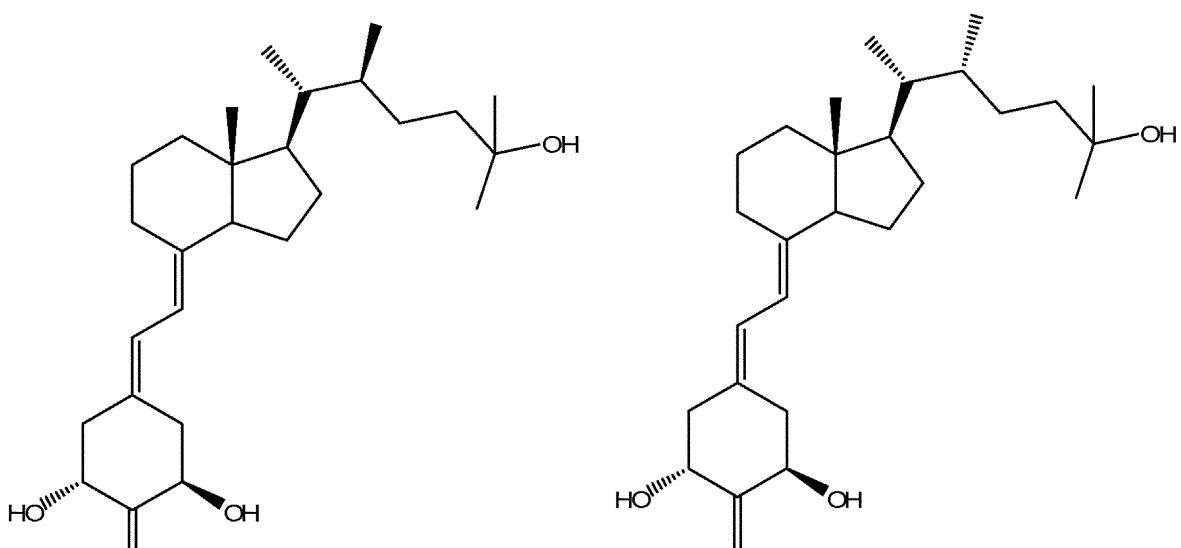
。  
[本発明1009]

式III E、III F、III G、またはIII Hを有する、本発明1004の化合物：



II E

II F



II G

II H

。  
**[本発明1010]**

本発明1004～1009のいずれかの化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む、医薬組成物。

**[本発明1011]**

前記有効量が、組成物1グラムあたり約0.01  $\mu$  g～約1mgの化合物を含む、本発明10の医薬組成物。

**[本発明1012]**

前記有効量が、組成物1グラムあたり約0.1  $\mu$  g～約500  $\mu$  gの化合物を含む、本発明10の医薬組成物。

**[本発明1013]**

本発明1004～1009のいずれかの化合物の有効量を対象に投与することを含む、生物学的状態を患う対象を治療する方法であって、該生物学的状態が、乾癬；白血病；結腸がん；乳がん；前立腺がん；多発性硬化症；ループス；真性糖尿病；宿主対移植片反応；臓器移植片拒絶反応；関節リウマチ、喘息、もしくは炎症性腸疾患から選択される炎症性疾患；しわ、適切な皮膚の引き締まりの欠如、適切な皮膚水分量の欠如、もしくは不十分な皮脂

分泌から選択される皮膚の状態；腎性骨ジストロフィー；または骨粗鬆症から選択される、前記方法。

[本発明1014]

前記生物学的状態が乾癬である、本発明1013の方法。

[本発明1015]

前記生物学的状態が、白血病、結腸がん、乳がん、または前立腺がんから選択される、本発明1013の方法。

[本発明1016]

前記生物学的状態が、多発性硬化症、ループス、真性糖尿病、宿主対移植片反応、または臓器移植片拒絶反応から選択される、本発明1013の方法。

[本発明1017]

前記生物学的状態が、関節リウマチ；喘息；またはセリアック病、潰瘍性大腸炎、およびクローン病から選択される炎症性腸疾患から選択される、本発明1013の方法。

[本発明1018]

前記生物学的状態が、しわ、適切な皮膚の引き締まりの欠如、適切な皮膚水分量の欠如、または不十分な皮脂分泌から選択される、本発明1013の方法。

[本発明1019]

前記化合物が対象に経口投与、非経口投与、経皮投与、または局所投与される、本発明1013の方法。

[本発明1020]

前記化合物が、1日につき0.01μg～1日につき1mgの投与量で投与される、本発明1013の方法。

本技術のさらなる特徴および利点は、以下の詳細な説明および図面から明らかとなる。